

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	きいろいリボン にじのひろば		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年2月14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年2月14日 ～ 2025年2月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応の必要な児童に1対1でつけるよう配慮し、個々に応じた内容での個別・集団活動を行う	・児童の通所曜日・時間等の調節をして、個別対応や少人数での支援が必要な児童に対応出来る様にしている。 ・個々に応じた個別課題の提供 ・状況に応じて集団活動の内容やグループを分けて全ての児童に合う様に工夫している	目標をもっと具体的に立案できる様、外部の専門の方の助言を受ける帰化を設け、さらに知識を持って活動内容を組み立てていきたい
2	幼稚園・保育園や他デイ等関係機関と積極的に連携を取る体制をつくっている	積極的に幼稚園等に電話で児童の様子を確認したり、必要に応じて関係者が集まり支援会議を行っている。	他デイとの連携が少し薄いと感じているので、支援方針を共有するなど積極的に関わりを持っていきたい。今後の移行支援も視野に入れていきたい。
3	児童の情報（近況や様子の変化など）を職員間で密に共有し共通認識を持って支援にあたる	全員で集まって会議する時間を多く確保できない分、こまめにあったことなどを共有する様にしている	全員が確認したことを認識できるよう伝言できる場所（掲示板など）を設置することで、より情報共有を出来るようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者が参加出来る行事（父母会・参観・親子行事など）の取り組みがない	開催したい気持ちはあるけど、どれだけのニーズがあるのかわからず（仕事している保護者も多いので）、思いとどまっている。内容によっては職員不足などもある。	まずはアンケートを取りニーズを確認する
2	研修等にまわせる時間の確保や、全員揃っての意見交換をする時間の確保が難しい。	全員で集まれる時間や研修をしている時間（地域で行われているものなど）の確保が難しい。	職員スケジュールの調整が可能な月は、外部に研修依頼をして順に受けるなども可能か。月1回の職員会議の他に定期的に時間を設けるなど。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	きいろいリボン　にじのひろば		公表日 2025年3月20日					
			利用児童数 2025年3月20日				回収数 12	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	1	0	5		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	0	0	0		
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか　。	10	0	0	2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援　」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	1	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	1		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	0	1	9		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	3	7		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	0	0	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	1		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	0	5		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1	0	2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きいろいリボン　にじのひろば		公表日　2025年3月20日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・活動内容によって子供たちが同じ空間に集まりすぎないように工夫している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3	・1対1の支援が必要な児童に対し手厚い配置が出来ている	・より手厚い支援のためにはもう少し増員しても良いと感じている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	・体を動かす場所、玩具で遊ぶ場所など区切っている ・身支度や片付けしやすい工夫をしている	・2階建てのためバリアフリーにはなっていない ・建物の構造上やむを得ないがホールの真ん中の柱が邪魔になる
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか　。	4			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1		・もっと広く参画し、意識を高めていけるようにしたい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	3		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか　。	3	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・支援内容は基本的に自発感が立案し共有している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・1か月の計画を出し、様々な活動を幅広くできるようにしている ・毎日個別、集団活動を組み合わせている	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	・連絡ノートの他に特記すべきことは別に記入し支援計画に組み込んでいる	・検証、改善につなげるための機会は十分ではない
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	・各園とは送迎等の際に日々の様子を伝えている。	・支援計画等の共有は充分でない
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2		・実態によって情報共有を行うことはあるが、行っていない児童もいる
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	3	1	・定期的にセンターの地域コーディネーターの方に来ていただき、アドバイスを頂きながら運営している	・職員が全員集まって助言を受ける機会などを設ける時間がなかなか取れない
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	0		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・面談以外に、日ごろから電話等でお話を受けられる体制がある。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		・現在はできていない ・保護者アンケート等を通してやってほしいことなど確認し、そういう機会を設けられたらと思っている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・通信の発行、SNSやYouTubeの限定配信などで定期的に様子を見られるようにしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		・地域のボランティア団体との交流を行う予定（設定済み）
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	・年に2回ほど、児童参加の上で避難訓練を行っている	・避難訓練以外の定期的な訓練（救出等）は充分ではない
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	・地震発生時のフローチャートを契約時に保護者に配布している	・非常時の対応についてより周知し、家庭との連携を図る必要がある
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		